

七夕講演会 (サイエンスカフェ) 終了のお知らせ

雲と宇宙の間の世界

～成層圏・中間圏の大気～

主催：神戸大学惑星科学研究センター

協力：神戸大学サイエンスショップ、WDB 株式会社

2010年7月7日に惑星科学研究センター(神戸大学)主催の七夕講演会を開催致しました。当日は、梅雨の蒸し暑い日でしたが、多くの方が本イベントに参加して頂き誠にありがとうございました。大変盛況なうちに会を終わらすことができました。また、当日は梅雨の中休みで雲は多かったものの夜空を多少見ることができました。

下記に当日の様子を伝えた写真を掲載致しました。また、皆様にご記入いただきましたアンケートは次回の講演会開催の参考にさせていただきます。

【当日の会の様子】



24階のカフェでしたので眺めは最高です。内装も非常におしゃれでした。

たくさんの方にお越し頂きました。
ありがとうございます。



以下、講演の様子です。サイエンスカフェで出たお菓子です。



【七夕講演会紹介文】

地上約 10km から 90km の大気圏を成層圏・中間圏と呼びます(雲の上になります)。そこで、起きている大気現象は我々が普段感じている大気現象とはまったく異なることが知られております。このサイエンスカフェでは一線で活躍されている若手研究者をゲストに招き、成層圏・中間圏の大気現象について話をさせていただきます。

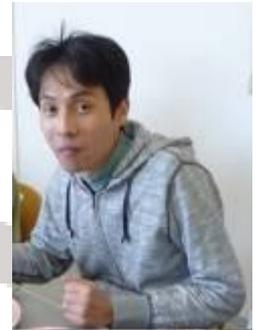
コーヒーを飲みながら、雲の上の世界はどんな気候になっているのかについて、研究者と一緒に考えてみませんか？ぜひお気軽にご参加ください。

講演者：西澤誠也

神戸大学理学研究科（助教）

[講師紹介]

明德義塾高等学校卒、京都大学理学部卒、同大学院理学研究科修士課程・博士課程修了、同大学数理解析研究所研究員などをへて、神戸大学大学院理学研究科助教、専門は気象力学博士(理学)



講演題目：雲と宇宙間の世界～成層圏・中間圏の大気～

講演要旨：

私たちの暮らしに密接な関係があり、毎日眺めても飽きない雲たち。惑星・星・銀河など、私たちの興味を引きつけて止まないはるか彼方の宇宙。そんな雲と宇宙に挟まれた上空の世界は私たちにはあまりなじみがないかもしれないが、実はそこにはとてもドラマティックで興味深い現象がたくさんあり、オゾン層といった私たち生き物に直接関わりがあるものもある。私たちが普段感じている四季とは全く異なる四季や、数日で 50 度ほども気温が上昇するといった現象、ほぼ 2 年おきに風向きが真逆になるといった現象など、私たちが知っている大気運動からは想像のつかないことが起きている。

本講演では、地上約 10km から 90km の成層圏・中間圏と呼ばれる高度帯にみられる大気現象をいくつか紹介し、日常ではあまり触れられないはるか上空の世界へいざないたい。

【惑星科学研究センターとは】探査・観測技術の向上によって、太陽系および太陽系以外の様々な天体について多くの情報が得られるようになりました。今、惑星科学は探査や観測によって得られた膨大なデータを解析し、惑星や惑星系の起源・進化・多様性の全体像を体系的に理解することに挑戦しています。これにより、生命を育む地球という惑星を位置づける宇宙観が確立され

まず、我々惑星科学研究センター(略称：CPS)は、惑星科学の上述の目的を達成するために、国内外に開かれた学術拠点として 2007 年 4 月に誕生しました。

講演会概要

日時：7月7日(水) 19:00～20:30

タイムスケジュール：

19:00～19:50 挨拶・講演(50分程度)

19:50～20:00 休憩

20:00～20:30 質疑応答

場所：UCC カフェコンフォート神戸市庁舎店

お店 HP：http://www.ufs.co.jp/shop-search/shop_id/446

対象：高校生以上

定員：30名(先着順)定員になり次第締め切らせて頂きます。

参加費：1000円(ケーキセット代)

ご不明な点などありましたら、講演会事務局 cps-gl201077@cps-jp.org にお問い合わせください。



Center for
Planetary Science